

北斗通信

(令和7年4月号)

1. 埼玉県 令和7年度入試 県内私立高校入試結果総括	1
2. 埼玉県 令和6年3月高等学校卒業生の非卒業率	4
資料① 令和6年3月高等学校卒業生の非卒業率	7
3. 東京都 公立中学卒業生の評定調査から	4
資料② 公立中学卒業生の評定調査	12
4. 千葉県 私立高校 令和8年度の申し合わせ	5
資料③ 千葉県私立高校 令和8年度申し合わせ	14
5. 千葉県 公立高校 令和8年度入試の改善点	5

会員限定情報「北斗通信」
令和7年4月12日
岩佐教育研究所
TEL048-688-4698
FAX048-675-0219
E-mail shohokuto@gol.com
無断転載を禁じます。

1. 埼玉県 令和7年度入試 県内私立高校入試結果総括

埼玉県内には、49校の私立高校があり、うち31校が付属中学校を併設している。一貫体制で高校募集を行っていないのが、開智所沢中等教育学校と浦和明の星の2校となる。

中学の総定員はおよそ4,000名、高校は17,500名で、高校の外部募集定員は、約13,500人ということになり、公私間協定の進学希望者の35%に達していない。このため、県外の公・私立高校に約8%、約4,800人の生徒を依存しているのが現状だ。

令和7年度の私立高校の入試では、システム的には、変更点はなかった。

埼玉県内私立高校の令和7年度入試変更点では、学科・コースの改編を行う高校が多くなっている。

また、昨春には、大学入試の改革が実行され、

令和2年の小学校に続き、3年の中学校、4年春には高等学校で学習指導要領の改訂が施行された。今春の中学卒業生は、小学校5年生からの英語学習の完成学年となり、高校の学習指導要領で3年間学ぶ4期目の生徒に当たる。

大学入試改革では、一端の当事者ということになろう。

このため、新たな大学入試の改革を視野に、教育改革を発表する学校が増加していると考えられる。

埼玉県内私学の変更点では、西武文理のコース変更が目に付く。グローバルを掲げる同校の学校改革が注目されよう。

また、附属中学の開校を発表した浦和学院のコース変化にも注目される。

令和7年度入試に向けての主な変更点

■募集定員の変更

○狭山ヶ丘(入間市)→募集人員を400人から300人へ。

○武蔵野音大付属(入間市)→募集人員を60人から36人へ。尚、令和9年に東京都練馬区へ移転する予定。

■コースの変更

○西武学園文理(狭山市)→グローバル選抜、グローバル特進、グローバル総合、スペシャルアビリティの5コースからアカデミックチャレンジ、アカデミックマルチパス、デュアル、クリエイティブ、スポーツ、アートの6コースに再編。

○本庄東(本庄市)→特進選抜コースを選抜コースに改編。選抜、特進、進学の3コース制に。

○春日部共栄(春日部市)→選抜、特進E系、特進S系の3コースから東大選抜、選抜、特進の3コース制に再編、特進コースは習熟度によりαクラスと特進クラスを設置。

7年度埼玉私学総括

声の教育社がまとめた令和7年度県内私立高校の入試状況(3月5日現在)では、

単願・併願計で、応募数を大きく増やした学校は、浦和学院(単 568 人⇒563 人、併 2,916 人⇒3,393 人)、栄東(単 32 人⇒57 人、併 2,800⇒3,035)、西武文理(単併 1,454 人⇒1,803)、狭山ヶ丘(単 142 人⇒229 人、併 656 人⇒897 人)、開智(単 188 人⇒260 人、併 1,276 人⇒1,520 人)、浦和麗明(単 186 人⇒223 人、併 831 人⇒1,066 人)、などとなっていた。

大きく減少したのは、春日部共栄(単 316 人⇒269 人、併 1,904 人⇒1,442 人)、西武台(単 243 人⇒202 人、併 1,575 人⇒1,244 人)、浦和実業(単 553 人⇒525 人、併 3,576 人⇒3,301 人)、埼玉栄(単 594 人⇒553 人、併 1,740 人⇒1,504 人)、花咲徳栄(単 439 人⇒396 人、併 2,241 人⇒2,043 人)、大宮開成(単 155 人⇒100 人、併 1,406 人⇒1,246 人)など。

隔年で増減となっている学校が目に付いた。学校方針や学事課の指導により募集の引き締め等を図ったと見られるケースもあり、数値は必ずしも人気動向ではないようだ。

前年同日対比で単+併の前年との差。尚、内部進学者、3月1日以降の入試、※帰国生を含まない。

大学入試の改革や新学習指導要領を前提とした積極的な対策を掲げる学校も増加し、県内私立への単願希望者は安定している一方で、少子化の進行から併願者を大きく減らした学校が目立った結果となっていた。

埼玉の私学への学費助成の拡大、それに伴う他の都県進学者への非支給、あるいは、大学入試改革や首都圏の大学の人気の高まりなども、公立に対して私学には追い風となっている筈だ。

しかし、国の就学支援金の拡大が、私学選択の自由化に繋がり、来年の募集は、都内への進学者の拡大になる可能性もあると思われる。

埼玉県内私立高校受験生の推移

年度	募集人員	応募者	入学者
平成27年度	17,600	約 69,500	約 18,830
平成28年度	17,715	約 68,500	約 18,970
平成29年度	17,875	約 68,600	約 18,960
平成30年度	17,875	約 68,300	約 18,800
平成31年度	17,875	約 65,200	約 18,200
令和2年度	17,835	約 63,500	約 17,800
令和3年度	17,535	約 62,700	約 17,700
令和4年度	17,535	約 64,300	約 18,400
令和5年度	17,660	約 63,300	約 18,800
令和6年度	17,200	約 61,800	約 18,000
令和7年度	17,200	約 61,750	

中間状況で推計ですが、県内私学の応募者総数は約 61,750 人(昨年度約 61,800 人、昨年度比 97.6%)に対し単願・推薦～約 10,770 人(昨年度 10,300 人、昨年度比 104.6%)、前期 1 月併願～約 47,750 人(昨年度約 47,800 人、昨年度比 99.9%)、一般(2 月入試)～約 5,700 人(昨年度同月約 5,800 人、昨年度比 98.3%)となっていた。

2 月入試には、慶應志木 1,200 人、早稲田本庄 2,760 人、立教新座約 1,600 人が含まれるので、それ以外は、およそ 160 人になる。また、受験生には、内部進学を含むが、単・併には含んでいない。

また、受験生総数に対し、それぞれの占める割合は、単願が約 17.4%、併願を認める 1 月入試 72.9%、一般 9.8%となっていた。

各高校の出願数変動の背景には、

- ① 在籍の減少、約 180 人。
 - ② 県内私学に対する助成金の優遇。8 年度からの国の就学支援金の増額
 - ③ 都内生 B 推薦禁止から、都立推薦出願前に併願を求める都内からの流入
 - ④ 中学校の評定の変化、基準等への配慮
 - ⑤ 大学への現役進学率
- などの要因が考えられる。

公立高校との併願では、令和 7 年度公立

高校の募集が、1.16倍の倍率で5,200人あまりの不合格者がいた。このうち約200人程度

が補充募集で公立を受験していると見られる。

○令和6年12月15日現在の進路希望状況

区分	令和6年12月15日現在		前年同期		前年同期との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1 中学校等卒業予定者数	62,548人	100.0%	62,737人	100.0%	△189人	
2 高等学校等進学希望者	61,667人	98.6%	61,690人	98.3%	△23人	0.3P
3 全日制高等学校	55,107人	88.1%	55,438人	88.4%	△331人	△0.3P
4 県内合計	50,903人	81.4%	51,153人	81.5%	△250人	△0.1P
5 国立	159人	0.3%	271人	0.4%	△112人	△0.1P
6 公立	39,558人	63.2%	40,027人	63.8%	△469人	△0.6P
7 私立	11,186人	17.9%	10,855人	17.3%	331人	0.6P
8 県外合計	4,204人	6.7%	4,285人	6.8%	△81人	△0.1P
9 定時制高等学校	949人	1.5%	1,025人	1.6%	△76人	△0.1P
10 通信制高等学校	4,170人	6.7%	3,822人	6.1%	348人	0.6P
11 高専・中等教育・別科	146人	0.2%	158人	0.3%	△12人	△0.1P
12 特別支援学校	1,295人	2.1%	1,247人	2.0%	48人	0.1P
13 専修学校等進学・入学希望者	117人	0.2%	160人	0.3%	△43人	△0.1P
14 就職等希望者	129人	0.2%	168人	0.3%	△39人	△0.1P
15 その他の者	635人	1.0%	719人	1.1%	△84人	△0.1P
16 進学希望校未定者	290人	0.5%	371人	0.6%	△81人	△0.1P
17 進路未定者	214人	0.3%	232人	0.4%	△18人	△0.1P
18 上記以外の者	131人	0.2%	116人	0.2%	15人	0.0P
19 再掲 高等学校等進学希望者 +進学希望校未定者	61,957人	99.1%	62,061人	98.9%	△104人	0.2P
20 進学・入学希望者のうち 併せて就職を希望する者	37人	0.1%	20人	0.0%	17人	0.1P

令和7年度の埼玉の公立入試の最終倍率は、前年よりやや上昇し1.16倍となりました。公立の不合格者は、前年と異なり合格発表前に追検査を実施したため156人増加し5,225人となりました。私学の併願の歩留まりでは、併願受験生の減少から、前年よりやや上昇したようです。また、全体的には、私学志向の高さを感じますが、①大学入試改革の影響。②自由な志望校選択に戻ったこと。③公的テストを含め、中学校の進路指導の変化③学費助成の拡充。④学校説明会・個別相談の実施。⑤個別相談基準の冗長度(柔軟性)などが学校選択に影響したように感じられます。

2. 埼玉県 令和6年3月高等学校卒業生の非卒業率から

資料① 埼玉県 令和6年3月高等学校卒業生の非卒業率

令和6年3月埼玉県公・私立高等学校卒業生(全日制)の非卒業率をまとめた。(卒業生数は県資料より)

入学生は、令和3年5月1日付け学校基本調査での、高校1年生の在籍(全日制合計5月1日現在)は、国立157人、公立35,079人、私立17,905人、計53,141人と発表(以下入学生とする)に対し、卒業生数は国立147人、公立32,612人、私立16,925人、計49,684人となっている。

入学したが、卒業していない非卒業生が国立10人、公立2,467人、私立980人、計3,457人、入学生比率6.50%となっていた。前年の非卒業者3,134人、非卒業率は5.75%から0.75%分313人増加していた。

非卒業生には、退学以外、留年・転出・転入・死亡等が該当するが9割方は退学と見られる。

埼玉県は、毎年公立高校・全日制の前年の中途退学者の状況を発表しているが、

- ・単年度退学者であること
- ・転学は退学に含めない

から令和4年度は、1.1%と発表され、低いレベルで推移している。しかし、公立高校の令和4年3月の卒業生の非卒業者は2,467人で入学生の7.04%(前年6.15%)が卒業できていない。

在籍は3ヵ年であり、その間の理由を問わない非卒業者こそ、高等学校の実態を表していると確信している。

ただし、期中の転入生・留学生や留年生がいるため、実数ではないことに注意が必要となる。

公立高校の学校別では、上尾橋35.5%、三郷27.3%、鳩山26.9%、八潮24.3%、川口工業24.3%、児玉24.0%、妻沼22.3%、新座22.2%、栗橋北彩22.2%、越生22.0%、児玉柏楊21.1%、日高20.3%などとなっていた。(20%以上)

児玉、越生、三郷、八潮など再編計画の当事校の非卒業率が目に付いていた。

5年度でも、令和3年度入試で2次募集を行った学校の非卒業率の上昇が目立った。志望校調査での低倍率校や2次募集校へ学力低位の層が集中したとみられる。

30%台が1校、20%台は前年の12校から11校となっていた。

公立の一連の統廃合計画の対象校が、地域の教育困難校を中心に行われた結果、学力低位層の進学先が通信制や昼間定時制などに変わってきた状況も感じられる。

一方、私立高校の非卒業率は、全体で980人(前年878)、入学生に対する比率は、5.47%(前年度4.94%)となっていた。

1年次にコロナ禍で部活動が制約を受けたことや、オンラインでの授業などが影響したものと思われる。

3. 東京都 公立中学校卒業生の2学期の評定調査から

資料② 東京都公立中学校卒業生の2学期の評定調査

東京都教育庁は、3月27日、令和7年3月の公立中学校3年生・義務教育学校9年

生の2学期の評定(12月31日現在をまとめた。同庁では調査の目的を「評定の信頼性・

客観性の確保」としており、15年度の調査開始以来一貫して「極端な評定をつけた学校、教員への指導を行う」としている。今回の調査でも、全体の結果と、学校・教科ごとの一覧を公開していた。

全体傾向では、令和3年度の観点別の変更前の9科平均と比較すると、5が13.5%から12.4%，4が25.5%から23.1%，3が46.6%から47.1%，2と1は、それぞれ11.2%から13.5%，3.2%から3.9%となっていた。

前年と比較すると、5と2が同様、4が0.2%、1が0.3%減少し、3が0.5%、2が0.5%増加

している。中学校の観点別評価の観点の変更以降、評定は、より中央寄りになり、厳し目になっているように感じる。

相対評価では、それぞれ 6.7 15.2 15.0 19.1 19.1 15.2 6.7 と定義されていることから見ると、依然として5は倍増しており、3以上が全体の82.6%(昨年は82.3%，一昨年は83.1%)になる等、甘さが継続していた。

一昨年以降、1と2が増加していたが今春では、4と2が減り、3が増加した。より無難に付けているように見える。

また、極端な評定をつけた学校では、次のようになっていた。

- (ア) 全教科にわたり、「1」の評定が付いていない学校は、前年度の1校と同数の1校となった。
- (イ) 「2」と「1」の評定が全くない教科のある学校は、前年度の1校から該当なしとなった。
- (ウ) 全教科にわたり、「5」の評定が付いていない学校、「5」と「4」の評定が全くない教科のある学校、「5」の評定の割合が50%以上の教科のある学校、「5」と「4」の評定の割合の合計が80%以上の教科のある学校、「1」の評定割合が50%以上の教科のある学校、「2」と「1」の評定の割合の合計が80%以上の教科のある学校については、いずれも今年度該当校はなかった。

評定を都立入試と連動すること、あるいは私学との入試相談を評定により実施するために、平成14年度からの絶対評価移行後に始まった評定調査ですが、例年80%以上の生徒を3以上と評価しています。

私学にとっては、この評定で事前の相談を受けることは、つらいことですが、少子化の中で、一定数を確保するためには、評定が甘くなることは、数合わせという面では必要なことなのかもしれません。

しかし、学校間格差、教師間格差のある絶対評価は、一定の危険性があることが前提の利用となります。

4. 千葉県 私立高校 令和8年度の申し合わせ

資料③ 千葉県私立高校 令和8年度入試の申し合わせ

令和7年2月26日千葉県私立中学高等学校協会は、6年度第4回目の総会で、令和8年度の中高の入試の日程などを申し合わせた。

前年とほぼ同一内容となっている。

5. 千葉県 公立高校 令和8年度入試の改善点

千葉県教育庁は、6年12月に令和8年度入試の改善点について発表した。

配慮の必要な生徒の心理的負担等とならないよう、調査書の記載項目を精選する。削除する項目は、以下の4つとなる。

- ・総合的な学習の時間の記録
- ・出欠の記録
- ・行動の記録（第3学年）
- ・総合所見

なお、令和7年度入学者選抜においても、不登校経験を有する生徒について、在籍する学校における出席の状況のみをもって不利益な取扱いをしないこととしている。また、欠席が多い理由について説明するために、自己申告書を

提出することができる。自己申告書が提出されたことによって不利益な取扱いをすることはない。

とされている。

同内容は、文部科学省から各県に出された通達に拠っています。私学にも各県を通じて通知されていますが、各校の入試基準の中で出席日数を問う内容は継続されているようです。

調査書の大きな変更は、埼玉でも大きな変更が発表されています。東京・神奈川では既に出席日数の欄が割愛されています。

お知らせ

5月号でご案内しますが「入試フォーラム」の日程が、6月12日（木）に実施予定となっています。大宮カドマビルの埼玉市民会館で13時30分開始予定です。お繰り合わせいただけますようお願い申し上げます。

閑話休題

令和7年度の授業が開始され、いよいよ、令和8年度入試としての活動が開始される時期となってまいりました。全国的に不安定な天候が続き、例年より桜の開花が遅くなったため、入学式は、前年に続き、満開の桜の下で行われています。

来春の受験生は、東京で約200人減、埼玉で500人減、千葉で1,200人減と減少傾向に入っています。東京で10年程度、隣接県でも数年は穏やかな減少となってくると思われます。

埼玉で、令和20年に向けて公立高校15~19校の縮小が発表されました。約59,000人から44,000人への少子化が進行していくようです。

その急減期対策に対して、今から検討していく必要があると思われます。新たな生徒育成の方針を立て、内部改革やコース再編、教員のスキルアップを断行していくべきと思われます。

令和9年度から調査書改訂、自己評価資料の作成、面接の導入などの大規模な入試改革が実施されます。是非ともかく、現中学2年生とそのご家庭では、各種検定は必要なのか、部活動加入の必要性はあるか、等の声があるようです。

国の就学支援金と埼玉の父母負担軽減事業の7年度内容はまだ決まっていないようですが、910万の年収上限の廃止案があるようです。来年からは、どの都県に進学しても45万7千円を上限とする授業料支援が決まっています。

今後の大きな変化の可能性がある埼玉の入試戦線ですが、早くも8年度入試戦線が開始されています。

新年度のスタートにあたり、先生方の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

2024年(令和6年)3月卒業生の非卒業率

学校名	3. 4入 学生	卒業生 数	非卒業 者	非卒 業率	大学	(率)	短大	(率)	大学短 大・在 籍比率
上尾橋	141	91	50	35.46	15	16.5	0	0.0	16.5
三郷	198	144	54	27.27	29	20.1	4	2.8	22.9
鳩山	93	68	25	26.88	5	7.4	1	1.5	8.8
八潮	152	115	37	24.34	30	26.1	4	3.5	29.6
川口工業	226	171	55	24.34	18	10.5	0	0.0	10.5
児玉	50	38	12	24.00	5	13.2	0	0.0	13.2
妻沼	94	73	21	22.34	5	6.8	3	4.1	11.0
新座	198	154	44	22.22	35	22.7	11	7.1	29.9
栗橋北彩	167	130	37	22.16	18	13.8	5	3.8	17.7
越生	118	92	26	22.03	12	13.0	7	7.6	20.7
児玉白楊	128	101	27	21.09		0.0		0.0	0.0
日高	158	126	32	20.25	18	14.3	12	9.5	23.8
岩槻北陵	142	114	28	19.72	11	9.6	0	0.0	9.6
羽生実業	117	94	23	19.66	2	2.1	1	1.1	3.2
川越初雁	169	136	33	19.53	20	14.7	8	5.9	20.6
浦和工業	175	141	34	19.43	33	23.4	0	0.0	23.4
所沢商業	215	174	41	19.07	24	13.8	5	2.9	16.7
北本	150	122	28	18.67	26	21.3	8	6.6	27.9
幸手桜	168	137	31	18.45	11	8.0	4	2.9	10.9
大宮武蔵野	238	195	43	18.07	58	29.7	15	7.7	37.4
蓮田松韻	122	101	21	17.21	27	26.7	3	3.0	29.7
桶川西	159	132	27	16.98	36	27.3	5	3.8	31.1
宮代	198	165	33	16.67	25	15.2	9	5.5	20.6
狭山清陵	198	166	32	16.16	48	28.9	14	8.4	37.3
誠和福祉	124	104	20	16.13	15	14.4	9	8.7	23.1
鶴ヶ島清風	194	163	31	15.98	30	18.4	11	6.7	25.2
秀明英光★	293	247	46	15.70	146	59.1	5	2.0	61.1
深谷	200	169	31	15.50	46	27.2	2	1.2	28.4
狭山工業	179	152	27	15.08	13	8.6	1	0.7	9.2
富士見	198	170	28	14.14	44	25.9	16	9.4	35.3
鴻巣女子	156	134	22	14.10	26	19.4	22	16.4	35.8
川口青陵	278	239	39	14.03	72	30.1	11	4.6	34.7
和光	152	132	20	13.16	11	8.3	4	3.0	11.4
松伏	183	160	23	12.57	36	22.5	5	3.1	25.6
新座総合技術	218	191	27	12.39	55	28.8	0	0.0	28.8
大宮商業	189	166	23	12.17	18	10.8	6	3.6	14.5
熊谷農業	232	204	28	12.07	24	11.8	4	2.0	13.7
狭山経済	233	205	28	12.02	52	25.4	11	5.4	30.7
いづみ	238	211	27	11.34	54	25.6	7	3.3	28.9
ふじみ野	195	173	22	11.28	54	31.2	8	4.6	35.8
大宮工業	266	236	30	11.28	37	15.7	0	0.0	15.7
飯能+飯能南	359	319	40	11.14	81	25.4	28	8.8	34.2

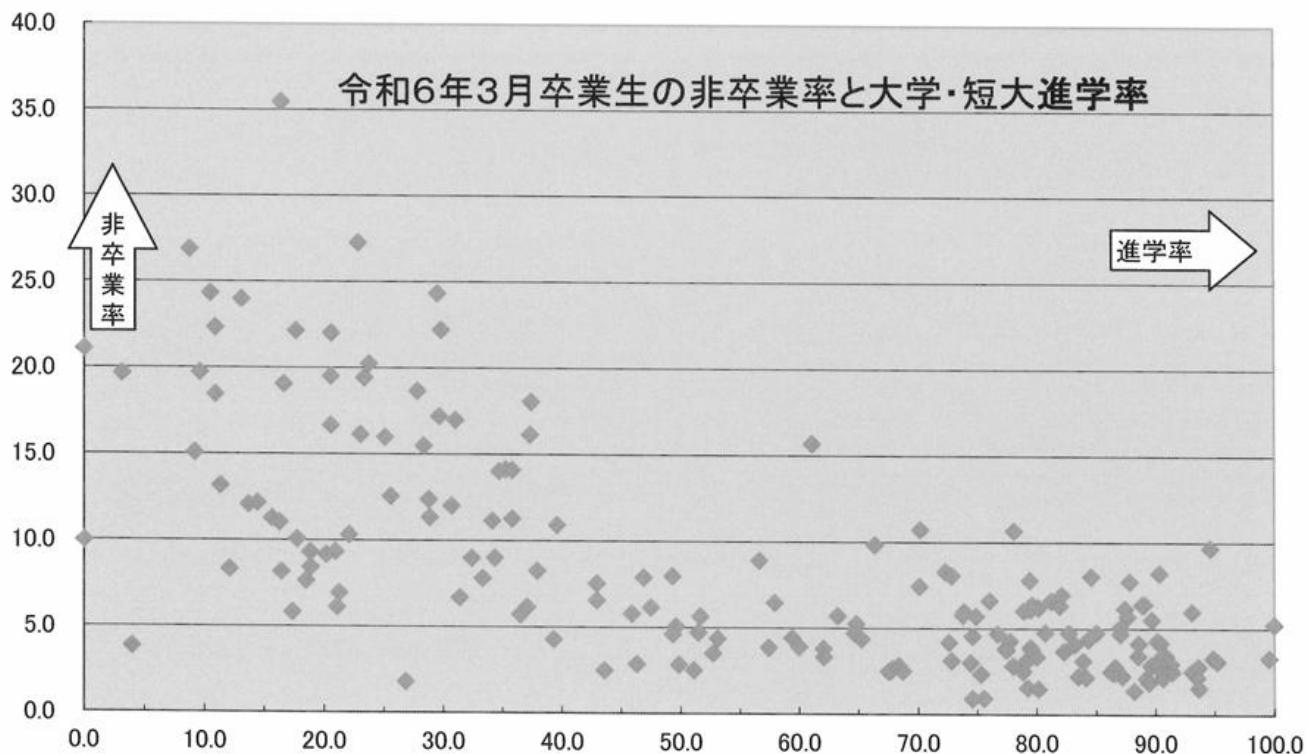
三郷工業技術	145	129	16	11.03	21	16.3	0	0.0	16.3
上尾南	238	212	26	10.92	66	31.1	18	8.5	39.6
国際学院★	233	208	25	10.73	133	63.9	13	6.3	70.2
秋草学園★	225	201	24	10.67	111	55.2	46	22.9	78.1
久喜工業	242	217	25	10.33	47	21.7	1	0.5	22.1
吉川美南	119	107	12	10.08	16	15.0	3	2.8	17.8
常盤	80	72	8	10.00		0.0		0.0	0.0
芸術総合	132	119	13	9.85	75	63.0	4	3.4	66.4
大宮開成★	434	392	42	9.68	371	94.6	0	0.0	94.6
進修館	300	272	28	9.33	53	19.5	4	1.5	21.0
寄居城北	193	175	18	9.33	24	13.7	9	5.1	18.9
八潮南	229	208	21	9.17	36	17.3	6	2.9	20.2
越谷総合技術	211	192	19	9.00	61	31.8	5	2.6	34.4
新座柳瀬	200	182	18	9.00	51	28.0	8	4.4	32.4
羽生第一	157	143	14	8.92	65	45.5	16	11.2	56.6
川越工業	272	249	23	8.46	43	17.3	4	1.6	18.9
小鹿野	36	33	3	8.33	2	6.1	2	6.1	12.1
浦和実業学園★	650	596	54	8.31	418	70.1	13	2.2	72.3
自由の森学園★	230	211	19	8.26	75	35.5	5	2.4	37.9
大妻嵐山★	146	134	12	8.22	116	86.6	5	3.7	90.3
岩槻商業	159	146	13	8.18	21	14.4	3	2.1	16.4
埼玉平成★	260	239	21	8.08	166	69.5	8	3.3	72.8
開智未来★	162	149	13	8.02	126	84.6	0	0.0	84.6
志木	238	219	19	7.98	98	44.7	10	4.6	49.3
川口東	278	256	22	7.91	112	43.8	8	3.1	46.9
熊谷商業	179	165	14	7.82	42	25.5	13	7.9	33.3
西武学園文理★	269	248	21	7.81	196	79.0	1	0.4	79.4
山村学園★	400	369	31	7.75	313	84.8	11	3.0	87.8
熊谷工業	222	205	17	7.66	37	18.0	1	0.5	18.5
上尾鷹の台	199	184	15	7.54	70	38.0	9	4.9	42.9
草加南	282	261	21	7.45	178	68.2	5	1.9	70.1
春日部工業	187	174	13	6.95	37	21.3	0	0.0	21.3
浦和ルートル学院★	72	67	5	6.94	55	82.1	0	0.0	82.1
草加西	239	223	16	6.69	60	26.9	10	4.5	31.4
大宮南	362	338	24	6.63	245	72.5	12	3.6	76.0
武蔵越生★	348	325	23	6.61	245	75.4	19	5.8	81.2
白岡	137	128	9	6.57	48	37.5	7	5.5	43.0
大宮東	310	290	20	6.45	161	55.5	7	2.4	57.9
浦和麗明★	420	393	27	6.43	345	87.8	5	1.3	89.1
昌平★	548	513	35	6.39	453	88.3	3	0.6	88.9
筑波大坂戸☆	157	147	10	6.37	115	78.2	2	1.4	79.6
開智★	632	592	40	6.33	485	81.9	0	0.0	81.9
聖望学園★	290	272	18	6.21	210	77.2	8	2.9	80.1
浦和学院★	778	730	48	6.17	616	84.4	22	3.0	87.4
鷺宮	276	259	17	6.16	94	36.3	29	11.2	47.5
浦和商業	276	259	17	6.16	90	34.7	6	2.3	37.1
杉戸農業	212	199	13	6.13	34	17.1	8	4.0	21.1

東野★	327	307	20	6.12	230	74.9	14	4.6	79.5
大宮光陵	348	327	21	6.03	238	72.8	20	6.1	78.9
久喜北陽	318	299	19	5.97	211	70.6	10	3.3	73.9
淑徳与野★	385	362	23	5.97	337	93.1	0	0.0	93.1
秩父農工科学	257	242	15	5.84	27	11.2	15	6.2	17.4
庄和	155	146	9	5.81	58	39.7	9	6.2	45.9
花咲徳栄★	640	603	37	5.78	426	70.6	19	3.2	73.8
滑川総合	279	263	16	5.73	68	25.9	28	10.6	36.5
深谷第一	280	264	16	5.71	152	57.6	15	5.7	63.3
山村国際★	245	231	14	5.71	155	67.1	18	7.8	74.9
武南★	438	413	25	5.71	361	87.4	1	0.2	87.7
所沢中央	318	300	18	5.66	134	44.7	21	7.0	51.7
星野★	852	805	47	5.52	717	89.1	5	0.6	89.7
秀明★	57	54	3	5.26	35	64.8	0	0.0	64.8
武蔵野音大附属★	19	18	1	5.26	18	100.0	0	0.0	100.0
鴻巣	276	262	14	5.07	114	43.5	16	6.1	49.6
所沢	357	339	18	5.04	293	86.4	2	0.6	87.0
春日部共栄★	588	560	28	4.76	451	80.5	1	0.2	80.7
東邦音楽大東邦第二★	21	20	1	4.76	17	85.0	0	0.0	85.0
与野	358	341	17	4.75	281	82.4	1	0.3	82.7
浦和東	318	303	15	4.72	189	62.4	7	2.3	64.7
川越西	318	303	15	4.72	133	43.9	23	7.6	51.5
西武台★	532	507	25	4.70	373	73.6	16	3.2	76.7
叡明★	639	609	30	4.69	522	85.7	8	1.3	87.0
三郷北	238	227	11	4.62	87	38.3	25	11.0	49.3
秩父	198	189	9	4.55	133	70.4	8	4.2	74.6
坂戸西	317	303	14	4.42	155	51.2	25	8.3	59.4
越谷西	319	305	14	4.39	186	61.0	13	4.3	65.2
草加東	319	305	14	4.39	147	48.2	15	4.9	53.1
浦和北	320	306	14	4.38	251	82.0	7	2.3	84.3
川越総合	210	201	9	4.29	51	25.4	28	13.9	39.3
東京農大三★	445	426	19	4.27	382	89.7	2	0.5	90.1
栄東★	446	427	19	4.26	329	77.0	3	0.7	77.8
南稜	358	343	15	4.19	231	67.3	18	5.2	72.6
川口北	359	344	15	4.18	311	90.4	0	0.0	90.4
獨協埼玉★	338	324	14	4.14	287	88.6	0	0.0	88.6
埼玉栄★	929	891	38	4.09	734	82.4	7	0.8	83.2
○市立川越	281	270	11	3.91	141	52.2	21	7.8	60.0
草加	360	346	14	3.89	269	77.7	6	1.7	79.5
桶川	259	249	10	3.86	122	49.0	21	8.4	57.4
皆野	26	25	1	3.85	1	4.0		0.0	4.0
伊奈学園総合	758	729	29	3.83	557	76.4	7	1.0	77.4
東京成徳大深谷★	263	253	10	3.80	147	58.1	10	4.0	62.1
正智深谷★	422	406	16	3.79	316	77.8	7	1.7	79.6
所沢西	318	306	12	3.77	223	72.9	14	4.6	77.5
細田学園★	516	497	19	3.68	401	80.7	8	1.6	82.3
小川	171	165	6	3.51	76	46.1	11	6.7	52.7

栄北★	351	339	12	3.42	308	90.9	0	0.0	90.9
坂戸	352	340	12	3.41	293	86.2	8	2.4	88.5
城北埼玉★	238	230	8	3.36	184	80.0	0	0.0	80.0
蕨	358	346	12	3.35	313	90.5	0	0.0	90.5
川越	360	348	12	3.33	216	62.1	0	0.0	62.1
城西大川越★	182	176	6	3.30	167	94.9	0	0.0	94.9
慶應志木★	243	235	8	3.29	234	99.6	0	0.0	99.6
豊岡	319	309	10	3.13	215	69.6	10	3.2	72.8
松山女子	320	310	10	3.13	249	80.3	11	3.5	83.9
越ヶ谷	323	313	10	3.10	295	94.2	3	1.0	95.2
川越東★	424	411	13	3.07	325	79.1	0	0.0	79.1
川越南	359	348	11	3.06	306	87.9	8	2.3	90.2
上尾	367	356	11	3.00	260	73.0	5	1.4	74.4
本庄東★	437	424	13	2.97	385	90.8	2	0.5	91.3
熊谷西	278	270	8	2.88	242	89.6	0	0.0	89.6
越谷東	278	270	8	2.88	115	42.6	10	3.7	46.3
春日部女子	281	273	8	2.85	241	88.3	5	1.8	90.1
入間向陽	318	309	9	2.83	124	40.1	30	9.7	49.8
松山	318	309	9	2.83	241	78.0	0	0.0	78.0
朝霞西	319	310	9	2.82	203	65.5	9	2.9	68.4
○浦和南	323	314	9	2.79	294	93.6	0	0.0	93.6
川越女子	360	350	10	2.78	302	86.3	1	0.3	86.6
本庄第一★	339	330	9	2.65	212	64.2	12	3.6	67.9
鳩ヶ谷	277	270	7	2.53	126	46.7	12	4.4	51.1
岩槻	318	310	8	2.52	188	60.6	25	8.1	68.7
春日部東	358	349	9	2.51	299	85.7	2	0.6	86.2
所沢北	358	349	9	2.51	325	93.1	0	0.0	93.1
不動岡	358	349	9	2.51	319	91.4	0	0.0	91.4
久喜	279	272	7	2.51	156	57.4	28	10.3	67.6
熊谷女子	319	311	8	2.51	283	91.0	0	0.0	91.0
浦和一女	359	350	9	2.51	276	78.9	0	0.0	78.9
浦和	360	351	9	2.50	153	43.6	0	0.0	43.6
春日部	360	351	9	2.50	237	67.5	0	0.0	67.5
○川口市立	402	392	10	2.49	354	90.3	1	0.3	90.6
狭山ヶ丘★	372	363	9	2.42	312	86.0	2	0.6	86.5
浦和明の星女子★	170	166	4	2.35	125	75.3	0	0.0	75.3
大宮	359	351	8	2.23	293	83.5	0	0.0	83.5
越谷南	359	351	8	2.23	302	86.0	4	1.1	87.2
越谷北	363	355	8	2.20	332	93.5	0	0.0	93.5
本庄	322	315	7	2.17	255	81.0	10	3.2	84.1
○市立浦和	327	320	7	2.14	290	90.6	0	0.0	90.6
立教新座★	332	325	7	2.11	290	89.2	0	0.0	89.2
和光国際	318	312	6	1.89	277	88.8	2	0.6	89.4
深谷商業	277	272	5	1.81	66	24.3	7	2.6	26.8
朝霞	318	313	5	1.57	245	78.3	3	1.0	79.2
○大宮北	321	316	5	1.56	296	93.7	0	0.0	93.7
杉戸	266	262	4	1.50	203	77.5	7	2.7	80.2

浦和西	361	356	5	1.39	314	88.2	0	0.0	88.2
熊谷	318	315	3	0.94	235	74.6	3	1.0	75.6
川口	322	319	3	0.93	228	71.5	10	3.1	74.6
早大本庄★	325	327	-2	-0.62	326	99.7	0	0.0	99.7

令和6年3月卒業生の非卒業率と大学等進学率



東京都 令和5年12月 都内公立中学校3年生の評定調査

令和6年(2024)3月28日教育庁

東京都教育委員会は、学習指導要領の目標に準拠した評価の客観性・信頼性を確保するため、都内公立中学校第3学年及び義務教育学校第9学年(12月31日現在)の評定状況の調査を、目標に準拠した評価が導入された平成14年度より実施しています。本年度についても、都内公立中学校第3学年及び義務教育学校第9学年(令和5年12月31日現在)の評定状況の調査を実施し、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

なお、東京都立高等学校入学者選抜で活用した評定は、今回調査した都内公立中学校第3学年及び義務教育学校第9学年(令和5年12月31日現在)のものです。

1 目的

都内公立中学校第3学年及び義務教育学校第9学年(令和5年12月31日現在)の学習指導要領の目標に準拠した評価による評定状況について調査を行い、評定の客観性・信頼性の確保に役立てる。

2 調査内容

都内公立中学校第3学年及び義務教育学校第9学年(令和5年12月31日現在)の各教科の評定状況

3 調査対

都内公立中学校等 621校(中等教育学校、義務教育学校を含む。)

4 調査結果(1) 各教科の評定分布状況

(単位: %)

(右)評定 (下)教科		5	4	3	2	1
国語	R6	12.3	23.0	46.6	14.1	4.0
	R5	12.6	24.1	46.2	13.3	3.8
社会	R6	13.3	22.9	43.5	15.7	4.6
	R5	13.8	23.0	43.7	15.2	4.3
数学	R6	13.3	21.2	42.2	17.2	6.1
	R5	13.4	21.8	43.1	16.3	5.3
理科	R6	12.5	22.0	45.7	15.3	4.4
	R5	12.9	22.6	46.1	14.4	4.0
音楽	R6	12.6	24.1	49.3	10.5	3.5
	R5	12.2	24.8	49.7	10.0	3.3

美術	R6	12.2	25.1	49.7	9.7	3.3
	R5	11.9	25.3	50.3	9.3	3.1
保健体育	R6	9.8	26.3	50.9	9.7	3.4
	R5	9.7	26.6	51.4	9.1	3.2
技術・家庭	R6	11.3	24.3	49.4	11.7	3.4
	R5	10.9	25.0	49.8	11.1	3.1
外国語 (英語)	R6	14.6	20.7	42.0	17.8	4.9
	R5	14.0	20.5	42.9	17.8	4.8
9教科 全体	R6	12.4	23.3	46.6	13.5	4.2
	R5	12.4	23.7	47.0	13.0	3.9

- 注 1. 上段は令和6年度選抜、下段は令和5年度選抜の調査結果である。
 2. 四捨五入の処理により、合計が必ずしも100.0%にはならない場合がある。
 3. 中学校等別教科別の評定状況については、「中学校等別評定割合」(個表)を参照のこと。

令和8年度

千葉県私立高等学校生徒募集に関する申し合わせ事項

千葉県私立中学高等学校協会

令和7年2月26日

生徒募集および入学試験については、各校ともこの申し合わせ事項を厳守し、行き過ぎた方法手段を用いて、自校や千葉県全私学の品位を傷つけぬよう慎重に配慮することとする。また、試験毎に志願して欲しい生徒像や選抜方法・内容については募集要項に詳細に明記する。

前期選抜試験 学校・学科の教育方針・目標・特色や特性に応じ、生徒が持っている特性・特技等に重点をおき、面接・小論文(作文)・自己表現・実技及び学校の定める検査等による選抜を行う。

後期選抜試験 学力検査等を実施し、選抜を行う。

二次選抜試験 公立高校入学許可候補者発表日以降実施する選抜とする。

そして下記の通り申し合わせる。

記

1. 前期選抜試験の実施について

ア. 実施の始期 一一一令和8年1月17日(土)以降

イ. 前期選抜試験実施校は、前期選抜試験にて不許可になった生徒の志望があれば、再度後期選抜試験を受験できるように配慮されたい。

2. 後期選抜試験の実施について

ア. 実施の始期 一一一令和8年2月15日(日)以降

3. 出願期間は、中学校の1月始業後の複数日を設定することが望ましい。ただし、WE B出願の場合は始期を12月17日(水)以降として、中学校の1月始業以降の期間とする。

4. 早期の合否決定また入学許可候補者の招集日等により、中学校最終学年の正常な教育活動を乱さぬよう十分注意すること。

5. 常に公立中学校との連絡を密にして信頼関係を保ち、入試相談の際には事前選考や予約行為と誤解されないよう注意、入学生徒の人数確保については極力、募集定員の遵守に努めること。

なお、入試相談の予約受付開始は12月1日(月)の9時以降とする。

ア. 入試相談の始期一一一令和7年12月15日以降

6. 各私立高校が行う中学校対象の入試説明会は、当該校の施設を利用すること。

ア. 説明会の開催時期一一一令和7年10月1日(水)以降

7. 公立高等学校併願者で、入学手続延期を希望する者の入学金前納額は5万円以内とする。また手続また、締切日時については、公立高等学校入学許可候補者発表日の翌日までは猶予すること。

8. 二次選抜実施校の願書締切日時については、公立高等学校入学許可候補者発表日の翌日まで配慮すること。

9. 入学試験問題作成にあたっては、中学校学習指導要領による進度内容を確認し、指導範囲を超えた出題をせぬよう留意すること。

10. 願書・推薦書・調査書等、出題者が提出すべき必要書類以外の資料を中学校側に要求しない。

11. 入学予定者の入学説明会については、中学校最後の授業である卒業式を避けるよう中学校との連絡を密にすること。

12. 追加合格や追認合格により、他校や他校への入学予定者に混乱を招かぬよう配慮すること。

13. 他都県への出張入試は自粛する。行う場合は、必ず他都県の入試申し合わせ事項を厳守する。また、他都県からの出張入試は自粛されたい。行う場合は本県の申し合わせを必ず厳守する。

14. 入学試験は自校施設にて実施することを基本とする。志願者数等の状況により自校施設での実施が難しい場合は、他の公共施設等で実施することを認める。

[注] 令和7年2月26日開催「令和6年度第4回総会」において決定